



～未来をつくる子どもたちの豊かな心をはぐくむために～

# 道徳のとびら

## みなさんはどう考えますか？

あきら君は、自転車に乗るのが大好きです。先日、友だちと自転車で遊びに行き、帰りが遅くなってしまい、そのことが原因でお母さんにしかられてしまいました。そして、お母さんと次のことを約束しました。



【約束1】夕方6時までには家に帰ること

【約束2】遠くに行くときは、行き先を言ってから出かけること

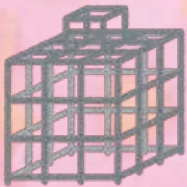
【約束3】守れない時は、罰（ばつ）として一ヶ月間、自転車に乗らないこと

しばらくたったある日、あきら君はなかよしのかずお君と、自転車で公園に遊びに行きました。遊びに夢中になっているうちに、すっかり日が暮（く）れてしまいました。しかし、急いで帰れば、お母さんとの約束の時間に間に合いそうです。

その時です。かずお君が急にあわてだしました。

「家のかぎがない！」

家族の帰りがおそくなるので、今日だけ預（あず）かった家のかぎをなくしてしまったのです。あきら君はかずお君と一緒に探しましたが見つかりません。早く帰らないと、お母さんとの約束の時間に間に合わなくなります。しかし、かずお君は泣き出しそうです…。



参考：「なくしたかぎ」小学道徳「生きる力 5年」日本文教出版

## この時、あきら君は、どうすればよいのでしょうか。

### 【お母さんとの約束を守る】

- ・お母さんにまたしかられるし、大好きな自転車にも乗れなくなる。
- ・お母さんは、あきら君のことを思って約束を決めたのに、悲しませることになる。
- ・一度約束したことは、きちんと守らなくてはならない。

### 【かずお君と一緒にかぎを探す】

- ・たった一人でかぎを探すことになるかずお君がかわいそうだ。
- ・友だちが困っている時は、助けをあげるべきだ。
- ・約束を破ってしまっても、理由を話せば、お母さんは分かってくれるだろう。



## この時、あなたなら、どうしますか。

### 「考え議論する」道徳の授業とは

道徳の時間が教科化されるにあたり、「学校が道徳的価値を教え込むのではないか」という心配をされた方もいらっしゃると思います。「特別の教科 道徳」では、子どもたちの様々な意見を引き出し、子どもたち一人一人が自分のこととして考えることをねらいとしています。様々な意見が出されることで、物事をより広く、深く考えることができるのです。ご家庭でも、迷いや葛藤が生まれる場面で「あなたはどうか考えるか」という意識を取り上げて、話題にしていいただければと思います。



ふくしまからはじめよう。

福島県教育委員会

# 見て、読んで、感じて、みんなの思い、考えを!!

## ～写真のエピソード紹介～



### 「上手に発表できたよ」

いわき市立江名小学校

本校では、役割演技を大切にしています。登場人物に、自分の思いを託して語らせることにより、素直に自分の心を見つめ、発表できる児童が増えてきています。小学2年生の女子児童は、授業後、次のように役割演技について振り返っています。

わたしは、「たくや」君になりきって、「あきら」君役の先生に、「はきはきあいさつが言えてよかった。これからも、ちゃんと言おうね。」と言いました。みんなの前でどきどきしたけど、その時思ったことが言えたのでうれしかったです。「たくや」君になりきってみんなの前で発表すると、「たくや」君の気持ちが分かった気がしました。



### 「ふるさとを思い、大事にしてほしい」

中島村立吉子川小学校

地域の夏まつり。毎年、子どもが元気に参加し、太鼓を叩いたり踊ったりして盛り上げています。「なかじま夢音頭」には地域独自の歌と踊りで、「ふるさとを誇りに思い、大事にしてほしい」との願いが込められています。踊りを伝授する地域の方々子どもを見守る目は、いつも温かです。子どもたちは最初は恥ずかしそうに踊っていますが、曲に合わせて体を動かしているうちにどんどん楽しい気持ちになっていきます。大人たちの流れるような美しい踊りを見ながら、動きを一つに合わせたい、そして踊りを通して地域を更に盛り上げたいと願いながら踊っています。



### 「自分たちの作ったおもちゃで…」

南会津町立館岩中学校

家庭科の授業で、生徒たちは、幼稚園児が笑顔で遊んでいる様子をイメージして、おもちゃ作りを行いました。そして、実際に作ったおもちゃを幼稚園に持参しました。写真は、作成した「迷路」で遊んでいる園児を生徒たちが見守っている場面です。

生徒たちは、自分たちが作った迷路に苦戦しながら、自分の力で何とかクリアしようとする園児に対して、手を出さず、温かい眼差しで見守り、クリアした時に、「すごい!」「がんばったね!」と、満面の笑顔で声を発して、一緒に大喜びしていました。自分たちの作ったおもちゃで園児たちが楽しく遊んでいる様子に、生徒たちは、とても満足していました。



### 「お互いの考えを聞き合いながら…」

会津美里町立本郷中学校

中学1年生で、「親切・思いやり」を扱った授業の一場面です。本校では、「思いやり」週間を位置付けたり、標語作成を行ったりしています。そこで、「親切・思いやり」について、授業で学習するだけでなく、「思いやり」週間や標語作成と関連させることにより、「思いやり」について深く考え、今後の生活に生かすことができるのではないかと考えました。

本校では、学級全体での話し合いの他、グループ学習を多く取り入れています。グループ学習は、少人数であるため、生徒は話しやすく、発表する機会も多くなり、お互いの考えを聞き合いながら学習に取り組んでいます。

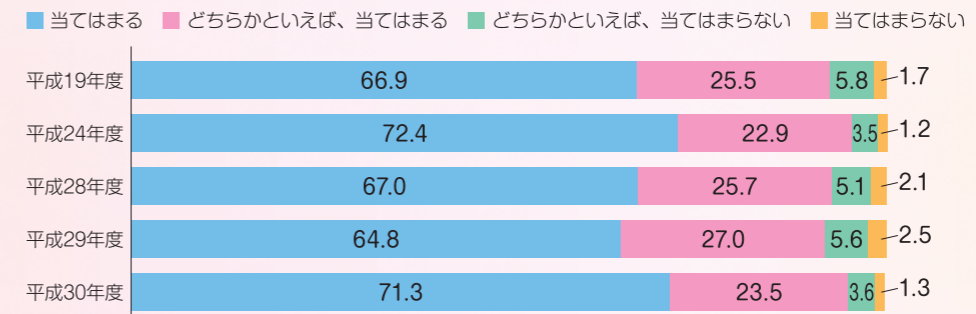
# データに見る福島の子どもたちの道徳性

## ～子どもたちと地域、社会とのつながりを考える～

8月に、平成30年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。この調査では「質問紙」による調査も実施しており、その中には、子どもたちの道徳性に関する調査も含まれています。昨年度は、調査項目から、「挑戦」「親切」「自分のよさ（自己肯定感）」の3つの結果を取り上げましたが、今年度は、子どもたちと地域、社会とのつながりに関する3つの調査項目を紹介したいと思います。

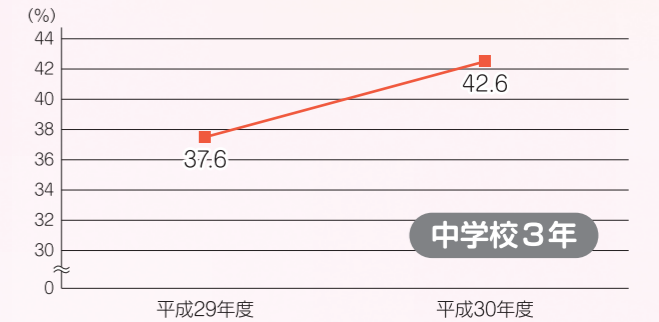
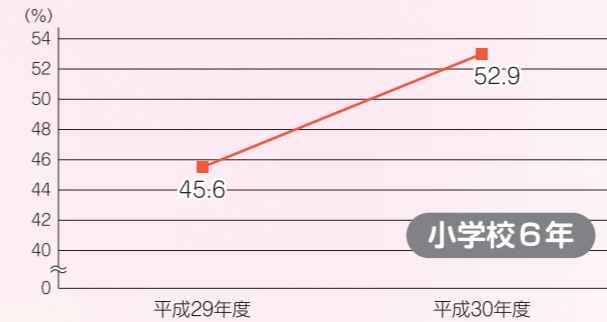
### 1 人の役に立つ人間になりたいと思いますか？

小学校6年



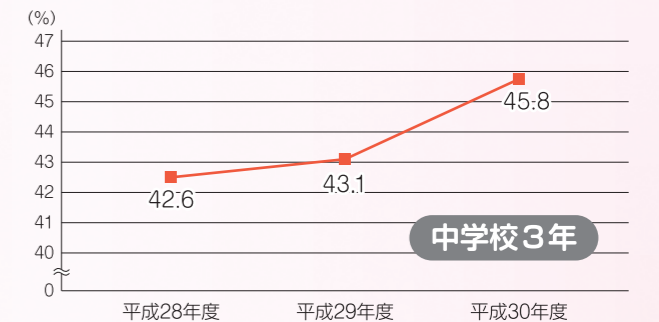
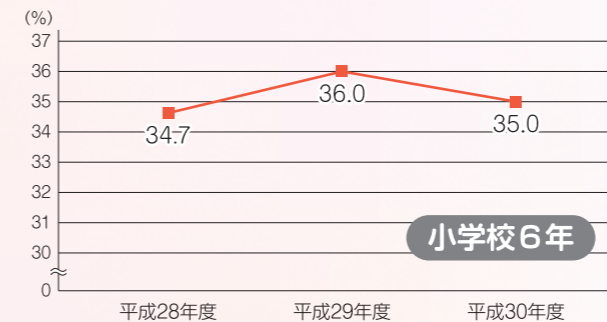
福島の子どもたちは、「人の役に立ちたい」という思いを、心の中に持ち続けているようです。大震災後の平成24年度に、この項目の割合が上がっていることから、大震災の経験は、子どもたちに考えるきっかけや何か活動する動機、役に立った喜びを与えたのではないのでしょうか。

### 2 地域や社会をよりよくするために何かすべきことを考えることがありますか？



※この調査項目は、平成29年度から新たに追加された項目  
※数字は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計

### 3 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか？



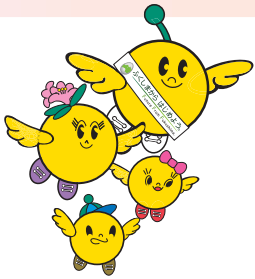
※数字は「参加したことがある」と回答した割合

これらの結果から、「人の役に立ちたい」という思いを心の中に温めている割合は高いのですが、地域や社会のために役立つことを実際に考えたり、ボランティア活動などを実践したりするまでには至っていないお子さんも多いことが分かります。福島の子どもたちが温めている「人のために役立ちたい」という思いを生かし、目的をもって共に活動する心地よさや勤労、奉仕の喜びを実感させることが大切なのではないのでしょうか。

そのためには、地域の行事に積極的に参加するよう、お子さんの背中を優しく押してあげたり、地域の方々が行事への参画を積極的に促したり、学校の教育活動において、地域に目を向け、積極的に取り上げたりすることが大切です。家庭、地域、学校が手を携えて、できることから始めたいものです。

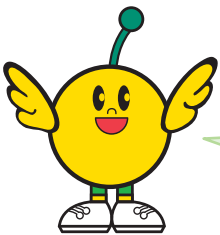
## 「特別の教科 道徳」Q&A

～「特別の教科 道徳」について、皆さんに知っていただきたいこと～



今年度の4月から小学校では「特別の教科 道徳」の授業がスタートしたそうだよ。中学校は来年度からだそうだね。これまで行われてきた道徳の授業と何が違うのかな。そもそも、「特別の教科」ってどういうこと？他の教科と何が違うの？分からないことだらけだね。キビタンにわかりやすく教えてもらいましょう。

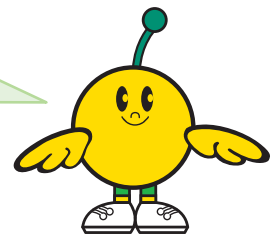
### Q なぜ「特別の教科」なのですか？



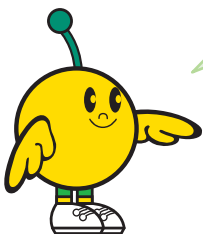
「特別の教科 道徳」の授業は、教員免許がなく、学級担任が授業を行うことが望ましいと考えられること、3・2・1等の数値や◎・○・△等による評価はふさわしくないと考えられることなど、他の教科とは異なる面があるために「特別の教科」として位置付けられたのです。

### Q 「特別の教科 道徳」になってどんなことが変わるのですか？

これまで使用していた副読本ではなく、教科書を使用して授業が行われます。教科書教材とともに「ふくしま道徳教育資料集」等の地域の教材も併用しながら、年間35時間（小1は34時間）の授業が行われます。評価が記述式で行われ、「特別の教科 道徳」の授業における、お子さんの学びのよさや成長の様子を、通知票などでご家庭にもお知らせするようになります。



### Q どのような授業が行われるようになるのですか？



これまでは、主人公の気持ちを場面ごとに考えるような授業が多く行われてきました。これからめざしていくのは「考え、議論する道徳」です。冒頭の頁で紹介した「みなさんはどう考えますか」のように、答えが一つではない様々な問題に対して、子どもたち一人一人が自分自身の問題としてとらえ、議論を深めていく授業などをめざします。また、「写真のエピソード紹介」で紹介しましたように、「役割演技」や「グループでの話し合い」等、様々な形態の授業が取り入れられることになります。

「特別の教科 道徳」は「よりよく生きるための道徳性を養う」ことを目標にしています。子どもたちにとっては、自分自身のこれからの生き方について学ぶ大切な時間となります。学校では、「特別の教科 道徳」について積極的に情報公開し、お子さんの学びの様子を伝えていきます。保護者の皆さんも、「特別の教科 道徳」に関心を持ち、お子さんがどのような学習をしているかご家庭でも話題にしてみてくださいはいかがでしょうか。

